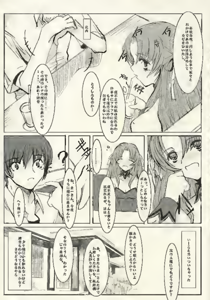
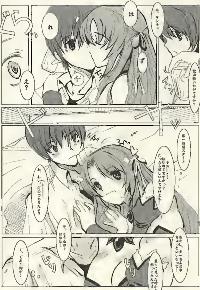

Angel Mort


おねーさん。注文いいかな？
こっちこっち
こっち向いて～
ぶん ぶん
はーい。少々お待ちください・・あら？どこかで聞いたような声
よっ
圭一さん！
久しぶりっ 稼いでる？
来るかなと思って寄ってみたんだけど・・
いらしてたんですか 全然気がつかなかった
あ、ちょっと待ってて下さいね。今休憩入れますから
…………。
しかし…さ


区別がつかないよなァ口さえ開かなきゃ―
あはは、もしかして姉さんの事ですか？
やだ
いーのかなぁ？姉さんにチクっちゃうかも知れませんよ？
はは、そりゃ困る
魅音――かぁ
……はい園崎です。ああなんだ魅音？
なる程ねえ―ふんふん
私から話そうか？
で、結局また告白はしてないんだ
言っちゃえばいいのに
だ、ダメよそんなの絶対絶対ダメッ！
いい？勝手な事はぜーったいにしないでよ！絶対よ、絶対！

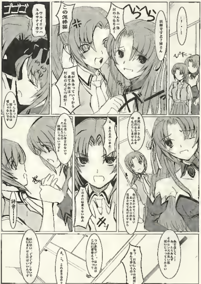

毎晩毎晩、同じような事で延々と
おかげであの日は湯冷めして
カゼをひいたし、
店内
寝不足でお肌ぁ荒れるわ
仕事中にフラフラになるわで
もう迷惑以外の
何者でもないわね
どうしたものか…
でさ、その時に…
その時のレナの顔ったら赤かったぜ
……あれ？詩音
……!?
あっ、ごめんなさい
ボーっとしちゃって
寝不足？ちゃんと寝ないと
肌荒れるぜ。はは
ね、圭一さん、今度
うちに遊びに来ませんか？
へ？俺が？
いーこと思いついちゃった
次の土曜にでもどうですか？
ああ どうせ暇だからいいよ
あ、できたら圭一さんだけで
お願いしたいな。私結構
人見知りが激しくて
そなの？うん、わかった
じゃ来週な。
少々強引かも知れないけど


えっと…
しまったかな 食いつきが悪い
あは、あははは… 驚かせようと思って…
呆
ささ、どうぞ。なんにもありませんけど～
あ、ああ
パタン
いいなぁ、一人暮らしかぁ 家賃結構するんだろ?

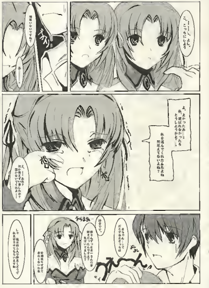


飲み物いかがですか？
あ サンキュ
は
ず
ち
ぐらっ
れ
え？
第一段階スタート♪
キス――…はじめてですかっ？
たったら嬉しいんですけどね
わ、わい、何のつもりだよ？
あたし、圭一さんの事ちょっといいなって――
最初に逢った時から想ってたんです
そ、そうなの？
ははは…
く、くお・胸が・・


圭一さんは
私の事キライですか？
あ―いや―
そんな事はない・と思う
じゃ、好きって事ですよね
ははは、ええと
そう―なのかな？
その声……圭ちゃん？
遊びに来て早々
買出ししてこいって言うから
商店街まで行って―…
お菓子やら何やら買って…
帰ってきてみたら…
なんで圭ちゃんが―…嘘よね？
はい？
けけ、圭ちゃんが…
けけけけけけけけけ
けけけけけけけけ
うけけけけけけけけ
あ、あのちょっと
外しますね―…
大丈夫ですから―多分
話通じるかな……
はて


へらへら
誤解ですよ？姉さん
あんた一体何のつもりよー
この泥棒猫
ゴゴゴ
ワルイオコハユルサナイカラ
まったまった 部があるのは嘘じゃないです
単純に圭一さんが目的なら姉さんを呼んだりしませんよ
私にまかせてください 圭一さんとの仲を進展させて見せますから
そんな悲しい事言わないで たった二人の姉妹じゃないですか
詩音……
はいはい ぐずぐずしないで 私にまかせとけばいいんです


お待たせしました
圭一さん
これよりどちらかを
圭一さんに指名して頂きます
拒否権はありません
あ…ああ……
今度はなんだ?
質問等一切不許可です
二人一緒もだめですよ
えっなんかスゲー恐ぇ
OK?
なにィッ
圭一さん、実は
あなたに選択の余地は
存在しないのです
既に魅音が選択されずとも
私が魅音のフリをすれば
良いだけの話
意図がまったく読めない
罰ゲーム?
何か重大な選択を
迫られているような…
どちらかはハズレなのか?
わからん
選択されなかった魅音が
荒れてしまうのではないか
ちゃんと詩音のフリが
できるかしら?
頼みますよ圭一さん
ドキドキ
うっ…

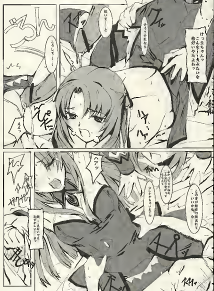

こ、……、よし、こっちにしよう
間違いないですね？
あ――
よ、よかったあ……私、選ばれなかったらどうしようかと…
私を選んでくれたんだよね 間違えてないよね？
え、…あれ？何か俺まずい事したか？泣かないでくれよ…
鈴音です。
よしよし
あらまあ
じゃ 後はお二人で仲良くどうぞ


バサッ
えー…、この格好でするの？
ドキ
ドキ
なんで？カワイイじゃんか
ヤ、だ、だって……
え、えっと もうちょっと ゆっくり？
痛くない？
声までカワイくなっちゃって 本当に似合ってるよ？
ひどい――っ イジワルしないでよぉ



ーーやっぱしおずかしいよ今日はやめない？
ね？
あはは 俺もちょっとテレるな――みられてるし
マグロが何かしゃべってますわね
あ
私としませんか？そんな冷凍マグロはほっといて
はあ？
たっ、誰がマグロよ
見てなさい！私だってこれくらい
がばっ
魅音ッ
じゅるっ
そうそう それ位圭一さんが好きなんだってとこ見せて頂きないとね
姉さん、そのままだとどうなるかわかってやってます？
あらあら もうちょっと加減してあげないと
お口にいっぱい出されちゃいましたね


ちょっとだけお尻上げて
うん、そんな感じ
ぐくっ
ズズズ
あっ
はあああああっ
ああああっ
そんな一気にッ



けっきちゃんッ
こんな……犬みたいな
格好いやたよおッ
そう？それなら
抜いて――と
こうして……
ええっ
ハアッ
この方が顔の表見れて
いいかも
よかってですねえ
こんな可愛がって
もらえて
少しでケちゃいますわ
おずかしい…よッ


ヤベ、頭がボーっとしてきた
はぁあぁあっ
はぁんッ
くすくす。ほんとカワイイ声
もっと鳴いてみて下さいよ ほらほらほらっ
くッーー とても熱い。
は、ばかっ 広げないでぇッ



あッ
ごめんッ
魅音
やはッ
まったく・・
えッ？圭ちゃん。
くぅううううッ
ひゃんッ
いやぁあああッ、
うううう…デートしたり、買い物一緒に行ったり
初めてのキスはどうしようとか…
色々考えてたのにぃ……
でも………これで明日から圭ちゃんと…
新しい関係になれるのかな…


おはよう。圭ちゃん
うん。
……
待てぇ
詩音？
地の果てまで
圭ちゃん
そいつ偽者！
ぽつん
あれっ
ええっと…
レナだけ仲間外れ？
そっちは
学校じゃないよぉ
終

Paper Crown